

<p>新規就農者の素顔</p>  <p>氏名：恩地利実（おんち としみつ） 住所：三田市天神 年齢：34歳</p>	<p>農業経営の状況（現在）</p> <p>農地：約1ha（借地約1ha） 施設：ビニールハウス200㎡×5棟</p> <p>経営内容： 施設きゅうり延べ10a、施設葉物野菜延べ20a、 なす4a、ピーマン4a、オクラ1a、黒大豆枝豆30a、 レタス10a、ブロッコリー30a、ダイコン10a、 その他</p> <p>労働力：本人、常時雇用（1人、週3日） 出荷先：JA、直売所、市場</p>  <p>トラクターを運転する恩地氏</p>
<p>就農から現在まで</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成18年4月 JA兵庫六甲入組 新人職員対象の営農研修を尼崎と神戸西の農家で受ける 平成24年3月 JA兵庫六甲退職 平成24年4月～平成25年3月 三田市の農家にて研修 （新規就農離陸加速モデル推進事業） 平成25年4月～ 独立就農 現在に至る 	<p>就農で良かった点、苦労した点</p> <p>○良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> 全て自己責任であるため、頑張った分だけ結果が返ってきてやりがいを感じる。 農業は常に体を動かし、自分で栽培した農作物を食べられ、自然の中でいきいきと仕事ができる喜びがある。 人とのつながりの大切さを実感し、特に家族では共通の話題が持てるようになり、より絆が深くなった。 人・農地プランにおいて集落の担い手として位置付けられているので、使命感をもって農業に取り組める。 <p>○苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎年、なんらかの失敗をする。 農業情勢に不安がある。
<p>農業をめざした動機</p> <p>JA兵庫六甲の営農指導員として勤務する中で農家の高齢化や耕作放棄地の増加、産地の衰退等農業の課題に直面した。しかし、農家出身ではなかったために、実際の農業を勉強として始めた。次第に栽培技術が向上し、農業をより深く知るために、心機一転、自ら農業をする道を選んだ。</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p> <p>必ず栽培技術と農業経営がしっかりしていれば家族を養うことができると思う。悩んでいるなら、ぜひ挑戦してほしい。ただし、基本的なことが備わっていないと、自分がやりたい農業だけでは生活できない。親方の元での研修や公的な研修制度を活用し、農業に対して長いプランで着実に取り組んでほしい。</p>